

アカゲラ通信



野菜って何科の植物？！

ふだん食べている野菜って植物的には何の仲間？まとめてみました。旭山にある野菜の仲間の花も紹介

★アブラナ科：大根、かぶ＝ダイコン属（よく見られるダイコンソウはバラ科）

キヤベツ、ブロッコリー、白菜、小松菜、水菜、チンゲン菜

＝アブラナ属 ※「アブラナ科」は野菜の一大勢力ですね。

★ナス科：なす、トマト、じゃがいも＝ナス属、ピーマン、しとう＝トウガラシ属

※上記3つが同じ仲間だなんて…でも花を見ると確かに似ています。

品数は少ないけれど「ナス科」も一大勢力といえます。

★ヒルガオ科：さつまいも＝サツマイモ属 ※朝顔も同属です。

★キク科：レタス類（チシャ）＝アキノノゲシ属、ごぼう＝ゴボウ属、チコリ（キクニガナ）＝キクニガナ属

ふき・ふきのとう（アキタブキ）＝フキ属

★セリ科：にんじん＝ニンジン属 パセリ、セロリ＝オランダミツバ属

★ウリ科：きゅうり＝キュウリ属 かぼちゃ、ズッキーニ＝カボチャ属

※分類上は「野菜」である果物のすいかとメロンもウリ科です。

★ヒユ科：ほうれん草＝ホウレンソウ属 ★アオイ科：オクラ＝トロロアオイ属

★ヤマノイモ科：長芋＝ヤマノイモ属 ★サトイモ科：里芋＝サトイモ属

★ハス科：レンコン＝ハス属 ★イネ科：とうもろこし＝トウモロコシ属

★マメ科：枝豆・大豆、もやし＝ダイズ属、さやえんどう＝エンドウ属、

いんげん＝インゲン属 ※もやは大豆に光を当てずに発芽させたものです。

★キジカクシ科：アスパラガス＝クサスギカズラ属 ※ここから2つは旧ユリ科

★ヒガンバナ科：玉ねぎ、長ねぎ、にんにく、ニラ＝ネギ属

●旭山で見られる野菜 ゴボウとチコリは外来種の栽培品種が野生化 したものの、他の3種類は自生種。なお旭山ではセリは見られません。

↓ゴボウ（キク科）

↓チコリ＝キクニガナ（キク科）

↓ふきのとう＝アキタブキ（キク科）

コンロンソウ アブラナ科 5月



アキノノゲシ キク科レタスと同属 9月



↓ミツバ（セリ科）



レストハウスぼるく通信 2022年9月

9月。暑かった夏の面影も薄れ、レストハウスから見られる空の様子や吹き込む風も一段と秋を感じられるようになってきました。山歩きを楽しむ方も増えてきたように感じられます。

レストハウスではお弁当も販売しておりますので、ハイキング等でお越しの際には是非ご賞味ください。お弁当は和風、ローストポーク、ザンギ、海鮮、エスニック系などがございます。

9月10日は「中秋の名月」ですね。秋の夜長、温かいお飲み物を片手にお散歩もおすすめです。コーヒー、カフェラテ、ココア、サツマイモのポタージュ等温かい飲み物もあります。もちろん冷たいドリンクやソフトクリームも！

金・土・祝前日・満月の日は併設ショップも夜間営業をしていますので、飲食スペースもご利用いただけます。通常の営業時ではお越しいただくのが難しい方も夜の公園散策・夜景をお楽しみの際にはお立ち寄りください。ショップではかわいいシマエナガグッズも各種取り揃えております！

※ぼるく営業時間：OPEN=10時、CLOSE=日～木曜日17時、金・土曜日・満月の日21時



旭山野鳥メモ④オオタカ

オオタカ Northern Goshawk *Accipiter gentilis* タカ目タカ科

留鳥だが一部渡りもする。北海道で冬に見られるものには大陸から来た冬鳥もいるといわれており、また秋に北海道から本州に渡るものもある。北半球に広く生息。旭山では1年通して見られるが、子育てが終わり幼鳥が拡散する秋に見られる機会が増える。幼鳥は茶褐色。

雌はカラス大、雄は一回り小さくハイタカ雌と大きさが被り混同しがち。「オオ」タカと名がついているが意外と大きくないんだと言う人が結構いるが、実は、灰色の体が青っぽく見えることから古来「蒼(あお)鷹」と呼ばれていたのがいつしか「オオタカ」になった。現在でも漢字は「蒼鷹」があてられるのはその名残り。「そうよう」とも読まれる。鷹は冬の季語でもある。鷹匠にも使われてきた。



針葉樹によく営巣する。旭山では2019年春、トドマツに雌が巣を造り繁殖に向け動いていたが、後から来たつがいの雄がその巣を見て気に入らなかったようで、繁殖には至らなかった。しかしその年は付近で別の巣を造って繁殖したらしく、夏頃まで頻繁に園内で観察されていた。翌年以降そのような動きはない。

飛び方は「パタパタスー」と呼ばれ、数回羽ばたいてから羽ばたかずまっすぐ飛んでまた羽ばたくを繰り返し、飛翔時の識別ポイント。出会うと木の間を低く飛んでいたん近くに逃げ、さらに追うと遠くに飛び去る。

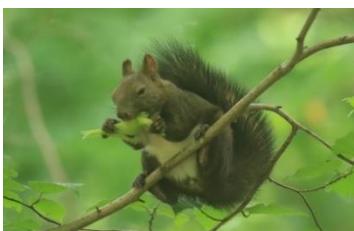
かつて絶滅危惧種だったがこの20年で数が増え今は指定を外されている。旭山でも意外と見られる鳥だ。

2022年9月の野鳥トピックス

- ・ヨタカ: 8/20 園内で初めて観察、旭山で117種目の記録です
- ・ツツドリ: 秋になり成鳥・幼鳥(右写真)とも園内での観察情報がありました
- ・キビタキ: 幼鳥も見られておりカラ類混群にいることもあります
- ・コサメビタキ: 幼鳥成鳥ともに見られ、木の梢をひらひら飛びます
- ・クロツグミ: 今年は幼鳥の観察情報が少なかったです
- ・クマゲラ: 今年はあまり見られていません。冬はどうなるでしょうか?
- ・オオアカゲラ: 園内で見られる頻度が今年は例年より高いです
- ・ヤマゲラ: 森の家周辺でときどき見られています
- ・チゴハヤブサ: 園内ではほぼ毎日見られており4羽の観察情報もあります。まだ子育てをしているようです「キーキー」と大きな声で鳴きながら飛びすぐに分かります。9月下旬までには南に渡っていなくなります
- ・シマエナガ: 8月後半から見る機会が増えました。幼鳥はもうほとんど成鳥と同じ顔になっています



旭山ミニ自然図鑑2022年9月 ~花もそろそろ終わり~



○ヘーゼルナッツを食べるエゾリス



○初秋のシマエナガ



○ニホンカナヘビの子ども



○ハナタデを探そう

ハナタデはかつて藻岩山登山道入口付近の道沿いにたくさん生え、秋には小さな花を咲かせっていましたが、ここ数年見ていません。旭山都市環境林にちらほらとありましたが同様に。ハナタデ自体は珍しい種ではないですが、旭山にはもうないのか、探しています。イヌタデと似ていますがハナタデは花がまばらにつきます。



○ヘーゼルナッツ=ツノハシバミの実



○クスサン 大型の蛾、今夏大発生



○トラフカミキリ スズメバチに擬態



「アカゲラ通信」 第105号 2022(令和4)年9月7日発行

(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351